レジメンNo,	一般名	医薬品名	適応	用法	用量（1回量）	その他
PO001	アパルタミド	アーリーダ錠	遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌 遠隔転移を有する前立腺癌	1日1回	240mg	減量して投与を継続する場合の投与量 減量レベル 投与量 通常投与量 240mg 1 段階減量 180mg 2 段階減量 120mg
PO002	ポナチニブ	アイクルシグ錠	前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病 再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性急性 リンパ性白血病	1日1回	45mg	
PO003	アナグレリド	アグリリンカプセル	本態性血小板血症	1日2回	0.5mg	1回0.5mg を1日2回経口投与より開始。増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として0.5mg ずつ行い、1日4回を超えない範囲で分割して経口投与すること。
PO004	エベロリムス	アフィニトール錠	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 神経内分泌腫瘍 手術不能又は再発乳癌 結節性硬化症	1日1回 食後又は空腹時(望ましい)	10mg	 内分泌療法剤との併用 トラフ濃度により適宜増減
PO005	タミバロテン	アムノレイク錠	再発又は難治性の急性前骨髄球性白血病	1日2回	3mg/m2	寛解導入療法：1日6mg/m2 を2回にわけて朝、夕食後経口投与 し、骨髄寛解が得られるまで投与する。投与開始日から8週間を越えないこと。
PO006	アナストロゾール	アリミデックス錠	閉経後乳癌	1日1回	1mg	
PO007	ブリグチニブ	アルンブリグ錠	ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	1日1回	day1-7, 90mg 、その後180mg	
PO008	アレクチニブ	アレセンサカプセル	ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 再発又は難治性のALK融合遺伝子陽性の未分化大細胞リンパ腫	1日2回	300mg	 体重35kg未満の場合の1回投与量は150mg とする。
PO009	エキセメスタン	アロマシン錠	閉経後乳癌	1日1回食後	25 mg	
PO010	エンザルタミド	イクスタンジ錠	去勢抵抗性前立腺癌 遠隔転移を有する前立腺癌	1日1回	160mg	
PO011	パルボシクリブ パルボシクリブ	イブランス錠	ホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌	1日1回 (3週服用1週休薬)	125mg	1日1回125mg を3週間連続し、1週間休薬 通常投与量 125mg/ 日 一次減量 100mg/ 日 二次減量 75mg/ 日
PO012	イブルチニブカプセル	イムブルビカカプセル	慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む） 再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫 造血幹細胞移植後の慢性移植片対宿主病	1日1回	420mg 560mg 420mg	 成人及び12歳以上の小児
PO013	ゲフィチニブ	イレッサ錠	EGFR遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌	1日1回 食後	250mg	無酸症が多いことが報告されているの で、食後投与が望ましい
PO014	アキシチニブ アキシチニブ	インライタ錠	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌	1日2回	5mg(10mgまで増量可)	1回10mg1 日2回まで増量できる。
PO015	キザルチニブ	ヴァンフリタ錠	FLT3-ITD変異陽性の急性骨髄性白血病	1日1回	未治療：シタラビン及びアントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤との併用において、地固め療法としてシタラビンとの併用において、キザルチニブとして1日1回35.4mgを2週間経口投与し、寛解導入療法及び地固め療法の投与サイクル数に応じて投与を繰り返す。その後、維持療法として、キザルチニブとして1日1回26.5mgを2週間経口投与し、それ以降は1日1回53mgを経口投与する。 再発又は難治性：26.5mgを2週間経口投与し、それ以降は53mg	
PO016	パゾパニブ	ヴォトリエント錠	悪性軟部腫瘍 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌	1日1回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	800mg	食事の1時 間以上前又は食後2時間以降に経口投与する。
PO017	バレメトスタット	エザルミア錠	再発又は難治性の成人T細胞白血病リンパ腫	1日1回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	200mg	
PO018	シクロホスファミド	エンドキサン錠	がん等の自覚的並びに他覚的症状の緩解 全身性 ALアミロイドーシス 治療抵抗性の下記リウマチ性疾患 ネフローゼ症候群	明記なし	1日 100～200mg 週 1回 300mg/m2 （体表面積） 1日 50～100mg 1日 50～100mgを 8～12週間	 投与量の上限は、1回量として 500mg とする。 小児にはシクロホスファミドとして 1日 2 ～3mg/kg を 8～12週間経口投与する。通常 1日 100mg までとする。原則として、総投与量は 300mg/kg までとする。
PO019	フルタミド	オダイン錠	前立腺癌	1日3回食後	125mg	食後に 経口投与する。
PO020	ビカルタミド	カソデックス錠	前立腺癌	1日1回	80mg	
PO021	カボザンチニブ カボザンチニブ	カボメティクス錠	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 がん化学療法後に増悪した切除不能な肝細胞癌	1日1回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	60mg(Nivo 併用時40mg) 60mg	空腹時に経口投与する。ニボルマブと併用する場合は1日1回40mg 空腹時に経口投与する。
PO022	アカラブルチニブ	カルケンス	慢性リンパ性白血病	1日2回	100mg	
PO023	イマチニブ	グリベック錠	慢性骨髄性白血病 KIT（CD117）陽性消化管間質腫瘍 フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病 FIP1L1-PDGFRα 陽性の好酸球増多症候群、慢性好酸球性白血病	1日1回 食後	400mg 400mg 600mg 100mg	慢性期：1日1回400mg で1日1回600mg まで増量できる。移行期又は急性期 ：1日1回600mg で1日800mg (400mg を1日2回)まで増量できる。 適宜減量 適宜減量 1日1 回400mg まで増量できる。
PO024	クリゾチニブ	ザーコリカプセル	ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ROS1融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	1日2回	250mg	
PO025	アビラテロン	ザイティガ錠	去勢抵抗性前立腺癌 内分泌療法未治療のハイリスクの予後因子を有する前 立腺癌	1日1回空腹時	1,000mg	空腹時投与 プレドニンと併用
PO026	サリドマイド	サレドカプセル	再発又は難治性の多発性骨髄腫 らい性結節性紅斑 クロウ・深瀬（POEMS）症候群	1日1回寝る前	100mg 50-100mg 200mg	1日400mg を超えないこと。 50～100mg より投与を開始し漸増する。ただし、1日400mg を超えないこと。 1回100mg を隔日投与から開始し、1週間以上の間隔をあけて1日1回200mg まで漸増する。1日300mg を超えないこと。
PO027	アファチニブ	ジオトリフ錠	EGFR遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌	1日1回空腹時	40mg	空腹時投与 1日1回 50mg まで増量できる。
PO028	ルキソリチニブ	ジャカビ錠	骨髄線維症 真性多血症	1日2回12時間毎	5mg～25mg 10mg	 適宜増減、1回25mg1 日2回を超えないこと。初回投与後、4週間以降で1回の投与量を5mgずつ2週間以上の間隔をあけて増量することができる。
PO029	スニチニブ	スーテントカプセル	イマチニブ抵抗性の消化管間質腫瘍 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌	1日1回 食事の影響なし (4週服用2週休薬)	50mg	4週間連日経口投与 し、その後2週間休薬する。
			膵神経内分泌腫瘍	1日1回食事の影響なし	37.5mg	1日1回50mg まで増量できる。
PO030	レゴラフェニブ	スチバーガ錠	治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 がん化学療法後に増悪した消化管間質腫瘍 がん化学療法後に増悪した切除不能な肝細胞癌	1日1回 食後(高脂肪避ける) (3週服用1週休薬)	1日1回160mg	食後に3週間連日経口投与し、その後1週間休薬する。
PO031	ダサチニブ	スプリセル錠	慢性骨髄性白血病	慢性期：1日1回 急性期：1日2回	100mg 70mg	適宜増減するが，1日1回140mg まで増量できる。 適宜増減するが，1回90mg を1日2回まで増量できる。
			再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ 性白血病	1日2回	70mg	適宜増減するが，1回90mg を1日2回まで増量できる。
PO032	アシミニブ	セムブリックス	前治療薬に抵抗性又は不耐容の慢性骨髄性白血病	1日2回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	40mg	
PO033	ベムラフェニブ	ゼルボラフ	BRAF遺伝子変異を有する根治切除不能な悪性黒色腫	1日2回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	960mg	
PO034	カペシタビン	ゼローダ錠	A法：乳癌	1日2回食後、21日間連日経口投与し、その後7日間休薬	825mg/m2（投与量は添付文書参照）	減量規定は添付文書参照
			B法：乳癌・大腸癌	1日2回食後、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬	1,250mg/m2（投与量は添付文書参照）	減量規定は添付文書参照
			C法：乳癌・大腸癌・胃癌	1日2回食後、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬	1,000mg/m2（投与量は添付文書参照）	減量規定は添付文書参照
			D法：大腸癌	1日2回食後、5日間連日経口投与し、その後2日間休薬	825mg/m2（投与量は添付文書参照）	減量規定は添付文書参照
			E法：大腸癌	1日2回食後、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬	800mg/m^2（投与量は添付文書参照）	減量規定は添付文書参照
PO035	ギルテリチニブ	ゾスパタ	再発又は難治性のFLT3遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病	1日1回	120mg	
PO036	ボリノスタット	ゾリンザカプセル	皮膚T細胞性リンパ腫	1日1回 食後	400mg	1回目の用量変更：1日1回300mg ,2 回目の用量変更：1日1回300mg 5 日間投与後2日間休薬
PO037	ラパチニブ	タイケルブ錠	HER2過剰発現が確認された手術不能又は再発乳癌	1日1回、食事の1時間以上前又は食後1時間以降	1250mg（カペシタビンと併用） 1500mg（アロマターゼ阻害薬と併用）	カペシタビンとの併用：1250mg アロマターゼ阻害剤との併用：1500mg
PO038	オシメルチニブ	タグリッソ錠	EGFR遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌	1日1回 食事の影響なし	80mg	減量する場合には、40mg を1日1回投与すること。
PO039	ニロチニブ	タシグナカプセル	慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病	1日2回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	400mg	食事の1時間以上前又は食後2時間以降に1日2回 初発の慢性期の慢性骨髄性白血病の場合には、1回投与量は300mg とする。小児には体表面積に合わせて投与量設定あり。(1回約230mg/m2)
PO040 PO041	ダブラフェニブ	タフィンラー	BRAF遺伝子変異を有する悪性黒色腫 BRAF遺伝子変異を有する切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	1日2回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	150mg	術後補助療法の場合には、トラメチニブと併用し、投与期間は12ヵ月間まで
PO042	ベキサロテン	タルグレチンカプセル	皮膚T細胞性リンパ腫	1日1回 食後	300mg/m2（体表面積）を食後投与	体表面積換算によるカプセル数の表あり。
PO043	エルロチニブ	タルセバ錠	非小細胞肺癌 膵癌(GEMとの併用必須)	1日1回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	150mg 100mg	
PO044	テガフール・ギメラシル・オテラシル	ティーエスワン配合OD錠	〇胃癌、〇結腸・直腸癌、〇頭頸部癌、 〇非小細胞肺癌、〇手術不能又は再発乳癌、 〇膵癌、〇胆道癌	1日2回食後、28日間連日経口投与し、その後14日間休薬	40mg/m2（投与量は添付文書参照）	減量規定は添付文書参照
			ホルモン受容体陽性かつHER2陰性で 再発高リスクの乳癌における術後薬物療法	1日2回食後、14日間連日経口投与し、その後7日間休薬	40mg/m2（投与量は添付文書参照）	減量規定は添付文書参照
PO045	テポチニブ	テプミトコ	MET遺伝子エクソン14スキッピング変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	1日1回食後	500mg	
PO046	テモゾロミド錠	テモゾロミド錠	悪性神経膠腫	初発：1日1回連日42日間、経口投与し、4週間休薬 再発：1日1回連日5日間、経口投与し、23日間休薬	初発：1回75mg/m2 再発：1回150mg/m2	
			再発又は難治性のユーイング肉腫	1回100mg/m2 を1日1回連日5日間、経口投与し、16日間以上休薬		
PO047	ダロルタミド	ニュベクオ錠	〇遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌 〇遠隔転移を有する前立腺癌	1日2回食後	600mg	遠隔転移を有する前立腺癌にはドセタキセルとの併用必須
PO048	イキサゾミブクエン酸エステルカプセル	ニンラーロカプセル	再発又は難治性の多発性骨髄腫 多発性骨髄腫における維持療法	1日1回空腹時に週1回、 3週間（1、8及び15日目）経口投与した後、 13日間休薬	4mg	レナリドミド及びデキサメタゾンとの併用必須
PO049	ソラフェニブトシル酸塩錠	ネクサバール錠	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 切除不能な肝細胞癌 根治切除不能な甲状腺癌	1日2回 高脂肪食は避ける	400mg	
PO050	タモキシフェンクエン酸塩錠	ノルバデックス錠	乳癌	1日1～2回	20mg	1日最高量は40mg
PO051	ヒドロキシカルバミドカプセル	ハイドレアカプセル	慢性骨髄性白血病 本態性血小板血症 真性多血症	1日1～3回	500mg～2,000mg	
PO052	ツシジノスタット	ハイヤスタ	再発又は難治性の成人T細胞白血病リンパ腫 再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫	週2回、3又は4日間隔で食後に経口投与	40mg	
PO053	エンコラフェニブカプセル	ビラフトビカプセル	悪性黒色腫（ビニメチニブと併用） 結腸・直腸癌（セツキシマブと併用）	1日1回 食後 1日1回 食後	450mg 300mg	
PO054	トレミフェンクエン酸塩錠	フェアストン錠	閉経後乳癌	1日1回	40mg	
PO055	レトロゾール錠	フェマーラ錠	閉経後乳癌	1日1回	2.5mg	
PO056	アベマシクリブ錠	ベージニオ錠	ホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌 ホルモン受容体陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法	1日2回	150mg	
PO057	トレチノインカプセル	ベサノイドカプセル	急性前骨髄球性白血病	1日3回食後	60～80mg（45mg/m2）	
PO058	ウベニメクスカプセル	ベスタチンカプセル	成人急性非リンパ性白血病	1日1回	30mg	通常、成人急性非リンパ性白血病の完全寛解導入後に維持強化化学療法剤と併用
PO059	ベネトクラクス錠	ベネクレクスタ錠	再発又は難治性の慢性リンパ性白血病	1日1回食後	第1週目に20mg、第2週目に50mg、第3週目に100mg、 第4週目に200mg、第5週目に400mgをそれぞれ1日1回、7日間食後	維持投与期は、400mg
			急性骨髄性白血病	1日1回食後	アザシチジン併用：1日目に100mg、2日目に200mg、3日目に400mg シタラビン少量療法併用：1日目に100mg、2日目に200mg、3日目に400mg、4日目に600mg	アザシチジン併用：維持投与期は、400mg 、 シタラビン少量療法併用：維持投与期は、600mg
PO060	エトポシドカプセル	ベプシドカプセル	肺小細胞癌・悪性リンパ腫・子宮頸癌・がん化学療法後に増悪した卵巣癌	記載なし	肺小細胞癌：1日175～200mgを5日間連続経口投与し、3週間休薬 悪性リンパ腫：A法；1日175～200mgを5日間連続経口投与し、3週間休薬、 B法；1日50mgを21日間連続経口投与し、1～2週間休薬 子宮頸癌：1日50mgを21日間連続経口投与し、1～2週間休薬 卵巣癌：1日50mg/m2を21日間連続経口投与し、1週間休薬	
PO061	チラブルチニブ塩酸塩錠	ベレキシブル錠	再発又は難治性の中枢神経系原発リンパ腫 原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫	1日1回食事の1時間以上前又は食後2時間以降	480mg	減量規定は添付文書参照
PO062	ボスチニブ水和物錠	ボシュリフ錠	慢性骨髄性白血病	1日1回 食後	500mg	減量規定は添付文書参照
PO063	ポマリドミドカプセル	ポマリストカプセル	再発又は難治性の多発性骨髄腫	1日1回	4mg	減量規定は添付文書参照
PO064	フォロデシン塩酸塩カプセル	ムンデシンカプセル	再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫	1日2回	300mg	
PO065	トラメチニブ	メキニスト	BRAF遺伝子変異を有する悪性黒色腫 BRAF遺伝子変異を有する切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	1日1回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降	2mg	ダブラフェニブと併用必須
PO066	ビニメチニブ錠	メクトビ錠	BRAF遺伝子変異を有する根治切除不能な悪性黒色腫、 がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌	1日2回 食事の影響なし	45mg	結腸・直腸癌に対してはセツキシマブとの併用必須
PO067	テガフール・ウラシル顆粒	ユーエフティE配合顆粒	〇頭頸部癌、〇胃癌、〇結腸・直腸癌、〇肝臓癌、 〇胆のう・胆管癌、〇膵臓癌、〇肺癌、〇乳癌、 〇膀胱癌、〇前立腺癌、〇子宮頸癌	テガフール・ウラシル通常療法：1日2～3回 ホリナート・テガフール・ウラシル療法：1日3回、食事の1時間以上前又は食後1時間以降,28日間連日経口投与し、その後7日間休薬	300～600mg	
PO068	オラパリブ錠	リムパーザ錠	白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法 BRCA遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法 相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるベバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法 がん化学療法歴のあるBRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌 BRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法 BRCA遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌 BRCA遺伝子変異陽性の治癒切除不能な膵癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法	1日2回 食事の影響なし	300mg	相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるベバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法の適応においてはベバシズマブとの併用必須
PO069	レナリドミド水和物カプセル	レブラミドカプセル	多発性骨髄腫	1日1回、21日間連日経口投与7日間休薬	25mg	
			5番染色体長腕部欠失を伴う骨髄異形成症候群	1日1回、21日間連日経口投与7日間休薬	10mg	
			再発又は難治性の成人T細胞白血病リンパ腫	1日1回(休薬なし)	25mg	
			再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫	1日1回、21日間連日経口投与7日間休薬	20mg	リツキシマブとの併用必須。最大12サイクル
PO070	レンバチニブメシル酸塩カプセル	レンビマカプセル	根治切除不能な甲状腺癌 切除不能な胸腺癌	1日1回食事の影響なし	24mg	
			がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌、 根治切除不能又は転移性の腎細胞癌	1日1回食事の影響なし	20mg	ペムブロリズマブ（との併用必須
			切除不能な肝細胞癌	1日1回食事の影響なし	体重60kg以上の場合は12mg、 体重60kg未満の場合は8mg	レンビマカプセル10mg には肝がんの適応なし
PO071	メルカプトプリン水和物散	ロイケリン散10%	〇急性白血病、〇慢性骨髄性白血病	記載なし	1日2～3mg/kg	
PO072	ロルラチニブ錠	ローブレナ錠	ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	1日1回食事の影響なし	100mg	
PO073	トリフルリジン・チピラシル	ロンサーフ配合錠	治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌	1日2回朝食後及び夕食後、 5日間連続経口投与したのち2日間休薬する。 これを2回繰り返したのち14日間休薬	約35mg/m2/ 回	1回投与量は添付文書参照
PO074	プロカルバジン塩酸塩カプセル	塩酸プロカルバジンカプセル	〇悪性リンパ腫、〇悪性星細胞腫、〇乏突起膠腫成分を有する神経膠腫	1日1～2回	1日50 ～100mg （1～2カプセル）	